



温泉家
北出恭子

湯の鶴温泉と湯の児温泉

“機能温泉浴”で2つの湯巡りしてみませんか？

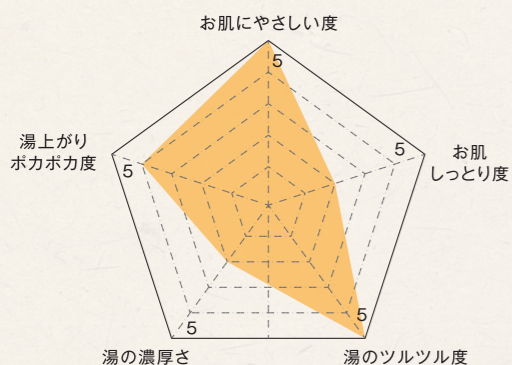
●機能温泉浴って何？

2種類以上の泉質を組み合わせることで、相乗作用によって健康・美容効果などを高める入浴法です。

水俣市には、泉質の特徴が異なる「湯の鶴温泉」と「湯の児温泉」があるため、洗顔をしてから化粧水を塗るなどのスキンケアをするように2つの温泉を正しい順番でめぐること、さらなる美肌を目指せます。

①まずは「湯の鶴温泉」

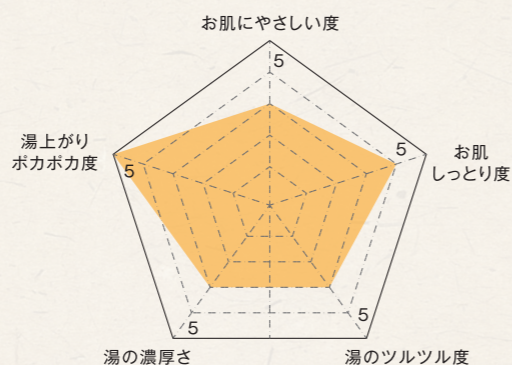
【湯の鶴温泉の泉質の特徴】



すっきり 角質オフ アルカリ性の高いクレンジング効果で、肌の角質や皮脂をクリアにオフ！

②つぎに「湯の児温泉」

【湯の児温泉の泉質の特徴】



しっとり 保湿 温泉成分が肌に膜をつくりコーティングすることで保湿&保温効果が◎

●自然環境も温泉の効果！

温泉の効果には、温熱・水圧・浮力などの“物理作用”、温泉の成分が体へ影響を与える“薬理作用”だけでなく、日常生活と違う環境に身を置くことで心理的によい影響を与える“転地作用”があります。

山間の森林に囲まれた「湯の鶴温泉」と海沿いに立ち並ぶ「湯の児温泉」では、心理効果が異なるとされているのです。

「湯の鶴温泉」は、木々から発せられる芳香物質によって、森林浴の効果でエネルギーに満ちて心身ともに元気になり、リラックス効果や免疫力アップなどが期待されます。

「湯の児温泉」は、青い海の色や波の不規則なリズム音などによって、イライラや不眠など高ぶっている交感神経を鎮静させ気分を落ち着かせることで、疲労回復やストレス解消によいとされています。

自分自身の今の気分やメンタルの状態によって、温泉地をチョイスしてみたいはいかがでしょうか？



温泉家 北出恭子（おんせんか・きたできょうこ）

国内外の温泉を年間300湯以上めぐる温泉専門家。

多数の温泉資格や知見を活かし、数多くのメディア出演や講演、インフルエンサーとして、温泉の魅力を世界に発信している。また、“利き湯”による泉質の分析・評価ができるスペシャリストとして、行政や温泉地自治体と連携し、温泉資源を活用したコンテンツの監修や泉質を活かした温泉地づくりのアドバイスを行う。

大学講師や観光行政の委員も務めている。杏林大学地域総合研究所客員研究員。認定心理士。

著書「九州絶品温泉、どこ行こ？（ペガサス出版）」。

施設DATA

- TEL.0966-68-0811
- 住所／水俣市湯出1532-2
- 営業時間／4月～9月/10:00～20:30
10月～3月/10:00～20:00
- 定休日／月曜日、年末年始
- 料金／大人（中学生以上）250円、子ども（3歳以上小学生以下）150円
- 風呂／内湯男女各1
- 駐車場／50台
- アメニティ／ドライヤー、フェイスタオル（有料）、シャンプー（有料）、ボディソープ（有料）、髭剃り（有料）



地元住民に愛される市営温泉

湯の鶴温泉にある市営の立ち寄り専用の温泉施設です。手頃な入浴料で楽しむことができ、古くから地域住民をはじめ、観光客にも親しまれています。平成27年に施設を大規模改修し、浴室も一新しました。館内には無料の休憩スペースや地元の特産品やお惣菜が並ぶコーナーもあり、ゆっくりくつろげます。



湯の鶴温泉保健センター ほたるの湯

hotarunoyu

誰もが安心して利用できる
市営の湯の鶴温泉



ココがポイント！
北出レビュー



常連さんに
聞きました！

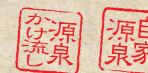
水俣市内在住男性(20代)
オーストラリア出身の私は他人と一緒に風呂に入る習慣がなく、少し不安がありました。この皆さんはあたたかく声をかけてくれます。お湯は熱いですが、よく体が温まり、お肌がつるつるになるのを実感しています。



コミュニティの場として住民に愛されている日帰り入浴施設。新鮮な地元野菜や名産品も購入できます。地元の木材をふんだんに利用した建物で、浴場は天井が高く広々とした内風呂で開放的。約42℃の熱めの湯で、源泉に炭酸ガスを多く含むので体の芯からよく温まります。

泉質DATA

- 泉質／アルカリ性単純温泉（低張性-アルカリ性-高温泉）
- 泉温／49.4℃
- pH／8.72
- 成分総計／1,648mg/kg
- 湧出量／—（測定不能）
- 利用状況／自家源泉・源泉かけ流し（加温、加水）



施設DATA

- TEL.0966-68-0147
- 住所／水俣市湯出1372-3
- 営業時間／8:30～18:00
- 定休日／無休
- 料金／大人100円、子ども50円
- 風呂／内湯男女各1
- 駐車場／5台
- アメニティ／なし



昔ながらの風情ある浴室

湯の鶴温泉街の入口にある昔ながらの公衆浴場です。建物の隣にある源泉から湧き出るお湯が浴槽に直接供給されているため、温度はぬるいですが、上質なお湯をゆっくり楽しみたい人に、大変好評です。地元の住民に古くから親しまれていますが、このお湯を求めて遠くは北海道や沖縄からもお客さんがやって来ます。川に渡す橋を歩いて温泉まで行くこともできるため、独特の風情を味わうことができます。



きくの湯

湯の鶴の川辺に
ひっそりとある秘湯

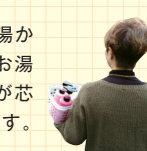


ココがポイント！
北出レビュー



常連さんに
聞きました！

水俣市在住女性(60代)
仕事が休みの土日にきくの湯に入るのが習慣です。お湯から硫黄の匂いがして、湯温は若干ぬるいですが、熱いお湯と違って長く湯船に入っていられるため、湯上りは体が芯から温まりポカポカするのが、この温泉の一番の魅力です。



湯の鶴温泉で一番の湧き立てフレッシュな極上湯。湯小屋のすぐ横の源泉から浴槽にダイレクトに配湯されているため、微細な気泡が体に付く“泡付き”と呼ばれる“新鮮な温泉の証”が見られます。ふんわりとした硫黄の香りに包まれて源泉かけ流し100%の“ぬる湯”に浸かればまるで天国。

泉質DATA

- 泉質／アルカリ性単純温泉（低張性-アルカリ性-温泉）
- 泉温／39.9℃
- pH／8.93
- 成分総計／526.5mg/kg
- 湧出量／—（測定不能）
- 利用状況／自家源泉・源泉かけ流し100%

